A 17 VecTest によるハマダラカ唾液腺中のスポロゾイトの検出

小林睦生¹、佐々木年則¹、二瓶直子¹、飯塚信二²、Jetsumon Sattabongkot³、坪井敬文⁴（国立感染研¹ 横浜検疫所² Arm. Forces Res. Inst. of Med. Sci.³ 愛媛大学・医学部⁴）

Detection of sporozoites from anopheline mosquitoes by VecTest

Mutsuo Kobayashi¹, Toshinori Sasaki¹, Naoko Nihei¹, Shinji Iizuka², Jetsumon Sattabongkot³, Takafumi Tsuboi⁴ (NIID¹, Yokohama Quarantine Station², Arm. Forces Res. Inst. of Med. Sci.³, Ehime Univ. School of Med.⁴)

マラリア侵淫地において、どの種類のハマダラカが伝播に関与しているか、また、スポロゾイト保有率がどの程度なのか等を調べる事は疫学調査上重要である。今までに ELISA 法や PCR 法が検討されているが、実験設備、採集蚊の保存、判定までの時間等で問題が多かった。VecTest (MAS 社)は、採集した蚊を分類後速やかに磨り潰し、30 分以内にスポロゾイトの保有に関して結果を出すことができる。今回、熱帯熱マラリアと三日熱マラリア(2 種の変異系統 Pv210, Pv247)の感染蚊を用い、同キットの検出感度を確認した。凍結保存した感染蚊 1 匹と未感染蚊 9 匹および一晩室温乾燥させた感染蚊および未感染蚊の磨り潰し液にスティックを入れ判定を行った。その結果各マラリア種に該当するバンドが陽性を示し、検出感度が高い事が示された。

A 18 ラオス国ウドムサイ県におけるマラリア媒介蚊の調査

○才田進¹、宮城一郎¹、當間孝子¹、都築中²、小林潤³、Samlane Phompida⁴（¹ 琉大、医、保健² JOCV、マラリア風土病対策、ラオス³ 国立国際医療センター、国際協力局⁴ マラリア・寄生虫・昆虫学センター、ラオス）

Survey of malaria vector mosquitoes in Oudumxay Province, Lao PDR

○Susumu Saita, Ichiro Miyagi, Takako Toma, Ataru Tsuzuki, Jun Kobayashi, Samlane Phompida

我々は、文部省科学研究費補助金（国際学術研究）によりラオス国立マラリア・寄生虫・昆虫学センター（CMPE）と共同で 1999 年から 3 年間の計画で“ラオスにおける蚊媒介性感染症の疫学的調査研究”を行っている。3 年目の 2001 年は、4～5 月にラオス北部に位置するウドムサイ県のマラリア流行地においてハマダラカの調査を行った。

調査は人囀および動物囀でハマダラカを採集、種の同定を行い、更に、マラリア媒介蚊を特定するために迅速診断キット (VecTest, MAS) を用いてマラリア原虫スポロゾイト抗原 (Pf, Pv210, Pv247) の検出を試みた。

その結果、人囀では 11 種、動物囀では 12 種のハマダラカが採集され、共に *An. minimus* group が最優占種であった。また、*An. minimus* group の蚊から熱帯熱マラリア原虫が検出された。